

(Last Updated: 6/6/2011)

「須藤 秀澤 - Travels in Japan and Korea 展」

@ The Theatre Chipping Norton in the United Kingdom, 2004 より



Seoul, 1998 (C) Hidesawa Sudo



Nara, 2002 (C) Hidesawa Sudo

「魅惑的なライフ・イメージを捕らえること」

(原題 : Capturing fascinating life images)

ヘレン・ピーコック

(Helen Peacocke)

日本出身の写真家である須藤秀澤の作品（イギリス・オックスフォードの Theater Chipping Norton で開催中の「Travels in Japan and Korea 展」から）は、レンズの背後にいる人間が、天賦の才能に恵まれた芸術家ならば、モノクロ写真がどのようなものでありうるのかを我々に示している。

須藤は現在、日本の大阪に拠点を置く英国王立写真協会（RPS）のメンバーである。また、須藤の作品は近年アジア、ヨーロッパをはじめ世界中で展示されている。それらが非常にポピュラーになったのは、須藤の写真が普通の人々の日常生活の瞬間を捕らえているからである。

須藤には、他の人間が見えない生命の様相を発見する能力があり、それは須藤の写真に彼らの持つ勢い全てを現し、その作品にドキュメンタリー・スタイルを与えているのである。また、須藤自身が自然光だけを使用するために、その写真はソフトな印象を持っており、したがって、われわれの視神経に侵入して来るようなことはない。須藤のフィルムで写し取られた人々は、彼ら自身が撮影されていることについては、ほとんど気付かないのである。

人々が普段の日常生活をおくるように、彼らを写真で捕らえることができることによって、須藤の作品は相当な深みを持つようになり、それは結果的に、須藤の展覧会を訪れた観客たちに、彼らが意図したよりも長く作品の前に留まることを強いるのである。

須藤は、これらの展示されたイメージ達が、自分の家の玄関の階段から始まり、ずっと遠くにまでおよぶ旅のドキュメントであると言った。須藤は、自身の目を通して見た世界や、かつその素晴らしいピクトリアル・ジャーニーを共有する機会を、そこを訪れたことのない人々に提供しているのである。

(2004年3月31日：英国「オックスフォード・ガジェット」紙より)

須藤 秀澤プロフィール (略歴)

- 1973 ・大阪に生まれる。主に独学で写真を学ぶ
- 1996 ・追手門学院大学経済学部卒業
- 1997 ・韓国、ソウルの Kyung-Hee 大学ギャラリーでグループ展に出品
- 1999 ・オンライン・ギャラリー「Photo Gallery Room 73」を開設
- 2000 ・マグナム・フォトのワークショップに参加 (東京)
マグナム元会長の Chris Steele-Perkins にインスパイアされる
- ・アメリカの Golden Web Award を受賞 (自身のオンライン・ギャラリーに対して)

- 2001 ・ 英国王立写真協会 (The Royal Photographic Society of Great Britain)のメンバーになる
- 2002 ・ 「2002 Areum 展」に出品 (京都市美術館、京都)
- ・ 「Areum Param 展」に出品 (アートスペース K、大阪)
 - ・ 「第7回「How are you, PHOTOGRAPHY?展」に出品 (江寿画廊、京都)
 - ・ 高梨豊写真ワークショップ「都市の変容・町の変貌 II」修了 (京都精華大学、京都)
- 2003 ・ 大阪写真月間でのグループ展に出品 (ギャラリー・千スペース)
- ・ 第8回「How are you, PHOTOGRAPHY?展」に出品 (同時代ギャラリー、京都)
- 2004 ・ イギリス、リーミントン・スパの Community Gallery での「Transitions 展」に出品
- ・ イギリス、オックスフォードの The Theatre Chipping Norton で個展 -
「Hidesawa Sudo: Travels in Japan and Korea 展」を開催
(後援：英国王立写真協会 Contemporary Group)
 - ・ 第9回「How are you, PHOTOGRAPHY?展」に出品 (江寿画廊)
- 2005 ・ アラード国際現代芸術ビエンナーレの写真部門に出品 (アラード、ルーマニア)
- ・ 大阪写真月間「150 人の一坪展」に出品 (富士フォトサロン、大阪)
 - ・ ドイツ、ハンブルクの Marziart Internationale Galerie での「五人の芸術家展」に出品
 - ・ 第148回英国王立写真協会国際プリント展に入選
- (同展覧会は年に一度開催される世界で最も歴史の古い国際写真展の一つであり、
同年6月より2006年の4月にかけて入選した作品による展覧会がイングランドを
中心に英国各地を巡回する。巡回会場は次の通り：Royal United Hospital,
Aberystwyth Arts Centre, Riversite Theatre, Smethwick Photographic Society,
Dimbola Lodge。また、イギリスで同展覧会の記念写真集が出版される)

- 2006
- ・大阪写真月間「写真家 150 人の一坪展」に出品（ギャラリー・千スペース、大阪）
 - ・「現代日本の写真 vol.7 出版記念展」に出品（銀座アートボックスギャラリー、東京）
- 2007
- ・大阪写真月間「写真家 150 人の一坪展」に出品（ピルゼンギャラリー、大阪）
 - ・オーストラリア、メルボルンの The Collingwood Gallery での愛をテーマにした展覧会 - 「Perspectives on Love 展」に出品（その後、出品した作品は現地メルボルンに拠点を置く人道支援団体であるメンズライン・オーストラリアへコレクションされる）
- 2008
- ・豪日交流基金の寄贈によって新設された大阪の追手門学院大学にある全国最大級のオーストラリア専門図書館「オーストラリア・ライブラリー」で写真作品の常設展が始まる
 - ・「出会いで人生豊かに」という題名の記事で読売新聞に掲載される（2月21日付朝刊）
 - ・大阪写真月間「写真家 150 人の一坪展」に出品（ギャラリー・千スペース、大阪）
 - ・オーストラリア、メルボルンの The Melbourne Camera Club Gallery での「From Near and Far: 英国王立写真協会オーストラリア支部展」に出品
 - ・イギリス、The Warwickshire Arts Week での「Still Life Revisited 展」に出品（同展はその後、Smethwick Photographic Society へも巡回する）
 - ・トイ・カメラのホルガを使った年に一度のイベント「ホルガエキスポ 2008 展」に出品（ナダール渋谷 355、東京/ナダール大阪：巡回展）
 - ・「ARTPORTFOLIO in ARTZONE 2008 展」に出品（アートプロジェクトルーム・アートゾーン、京都）
 - ・追手門学院創立 120 周年記念式典に卒業生・来賓として列席（大阪城ホール、大阪）
- 2009
- ・大阪写真月間「写真家 150 人の一坪展」に出品（ビジュアルアーツ・ギャラリー、大阪）
 - ・「ホルガエキスポ 2009 展」に出品（ナダール渋谷 355、東京/ナダール大阪）

- ・ イギリス、Plymouth の Cube 3 Gallery での「Still Life Revisited 展」に出品
- ・ 追手門学院創立 120 周年記念事業の一環として出版された「追手門学院の履歴書」で宮本輝、堺屋太一、そして福留功男らと共に同学院出身の文化人 36 人に選ばれる
- ・ オーストラリア、メルボルンの The Melbourne Camera Club Gallery での「Light Years: 英国王立写真協会オーストラリア支部展」に出品

- 2010
- ・ 品川 0 美術館「ミックス・アート展」に出品（東京）
 - ・ 大阪写真月間「写真家 150 人の一坪展」に出品（オリンパスギャラリー、大阪）
 - ・ 「ホルガエキスポ 2010 展」に出品（ナダール渋谷 355、東京）
 - ・ 「夏ものがたり展」に出品（壹燈舎、大阪）
 - ・ イギリス、Taylor Johns House での「コヴェントリー・アートフェア - Art Auction for beat」に出品
 - ・ オーストラリア、メルボルンの The Melbourne Camera Club Gallery での「英国王立写真協会オーストラリア支部展 2010」に出品
 - ・ 第 2 回「小品展～生活の中にアートを～」に出品（アートイマジン・ギャラリー、東京）
- 2011
- ・ 大阪写真月間「写真家 150 人の一坪展」に出品（大阪ニコンサロン・ギャラリー、大阪）

その他（メディア・出版関係）

- 2002 ・ "Art, Life and Photography" シリーズ
(Contemporary Photography, RPS Contemporary Group Journal, イギリス)
- ・ "Untitled" シリーズ (アルン展カタログ、アルンネットワーク、京都)
- 2003 ・ "Photo Gallery Room 73" シリーズ
(Photographers' Webring, Franco Olivetti, Milan, イタリア)
- 2004 ・ "Travels in Japan and Korea" シリーズ
(Contemporary Photography, RPS Contemporary Group Journal, イギリス)
- ・ 「ニュー・フォトグラファーズ・ファイル vol.1」
(ARTBOX インターナショナル出版、東京)
- 2005 ・ 「Aimless Walk」 (自費出版、東京)
- ・ "The RPS 148th International Print Exhibition Catalogue"
(英国王立写真協会・コダック共同出版、イギリス)
- 2006 ・ 「現代日本の写真 vol.7」 (ARTBOX インターナショナル出版、東京)
- ・ "From East to West" シリーズ
(RPS Contemporary Group Official Website, イギリス)
- ・ "The International Biennale of Contemporary Art Catalogue"
(Arad County Council, ルーマニア)
- 2007 ・ "Hidesawa Sudo: An RPS Visitor from Japan"
(英国王立写真協会オーストラリア支部ニュースレター、メルボルン、オーストラリア)
- 2008 ・ "Still Life Revisited Catalogue" (RPS Contemporary Group、イギリス)

- "From near and Far: Photo-CD Catalogue"

(英国王立写真協会オーストラリア支部、メルボルン、オーストラリア)

- 2009
- "The First Impression - An Overview of Australian Photography"

(Contemporary Photography, RPS Contemporary Group Journal, イギリス

及び同協会オーストラリア支部ニュースレターにも掲載)

- 「追手門学院の履歴書 文化人編」 (日経大阪PR、大阪)

- "Light Years: Photo-CD Catalogue"

(英国王立写真協会オーストラリア支部、メルボルン、オーストラリア)

- 2010
- "From East to West"シリーズ

(Contemporary Photography, RPS Contemporary Group Journal, イギリス)

パブリック・コレクション

- メンズライン・オーストラリア (メルボルン、オーストラリア)

- オーストラリア・ライブラリー (追手門学院大学、大阪)